

# 令和6年度 第2回 熊本県・熊本市調整会議

令和6年(2024年)12月26日(木) 17時半～  
熊本市役所 議会棟2階 予算決算委員会室

## 会議次第

1 開 会

2 挨拶

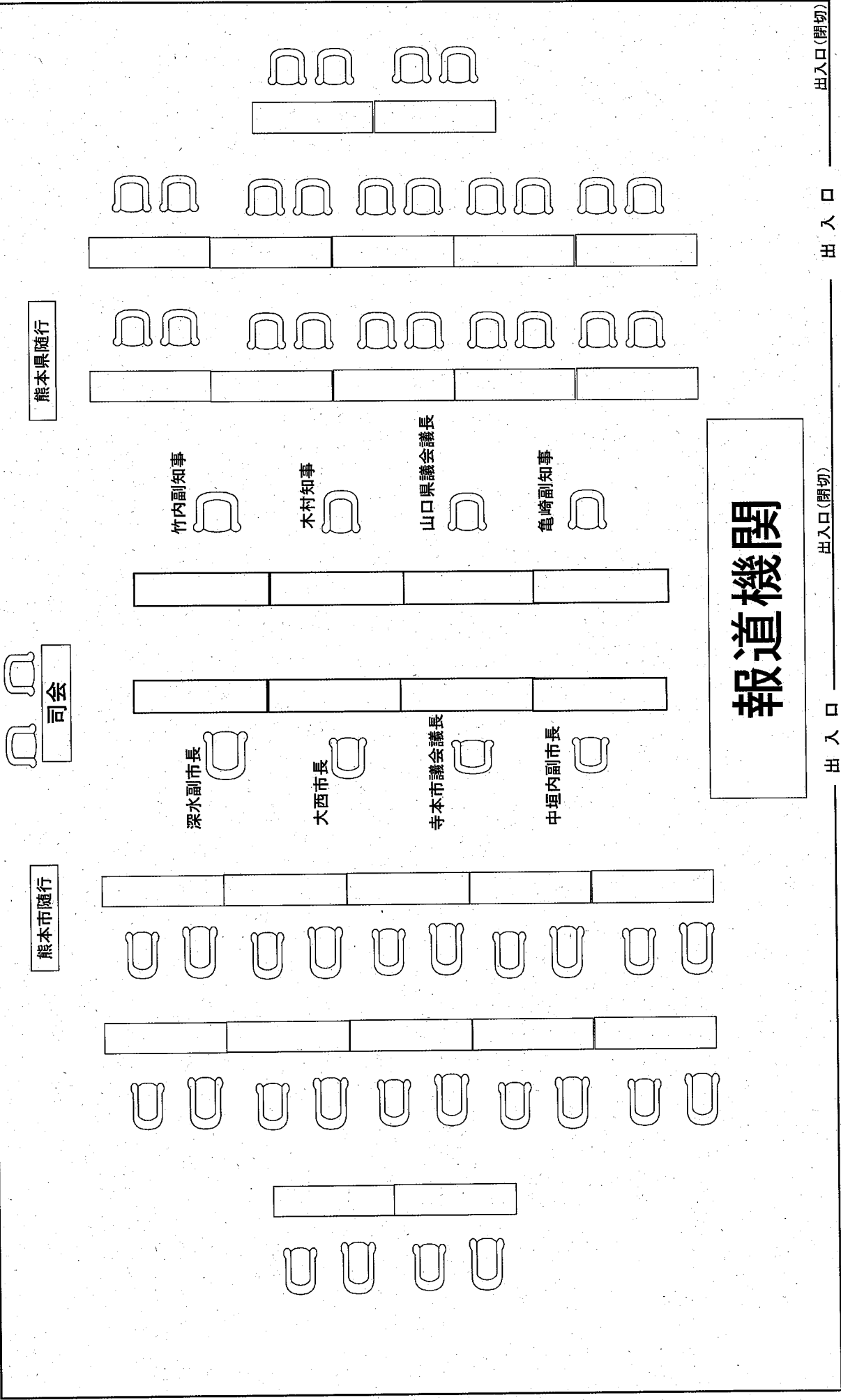
3 議 題

- ・熊本都市圏の交通渋滞対策について

4 閉 会

# 第2回 熊本県・熊本市調整会議 席次表

日時: 令和6年12月26日(木) 17:30~  
 場所: 熊本市役所議会議棟2階 予算決算委員会室



# 第2回 熊本県・熊本市調整会議 取材対応レイアウト

日時: 令和6年12月26日(木) 18:00~

場所: 熊本市役所議会議棟2階 予算決算委員会室

木村知事



大西市長



## 報道機関

出入口

ホール

出入口(閉切)

出入口

出入口(閉切)

階段



西(熊本城側)

議題(1) 熊本都市圏の交通渋滞対策について

項目	現状、これまでの取組状況、課題等
<p>(1) 熊本都市圏の交通渋滞対策について</p>	<p><b>1 現状・背景</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>熊本都市圏の交通渋滞は慢性化しており、県内の主要渋滞箇所は285箇所（R6.12時点）</li> <li>そのうち、都市圏における箇所数は226箇所、熊本市は174箇所、県内の約6割が熊本市に集中</li> <li>3大都市（東京、大阪、名古屋）を除いて、主要渋滞箇所数は政令指定都市ワースト1位</li> <li>地域公共交通については、利用者の減少、事業者の経営悪化、サービス水準の低下となるなど負のスパイラル化</li> <li>道路施策と公共交通施策を組み合わせた対策をおこなっていく必要がある</li> </ul> <p><b>2 これまでの取組状況</b></p> <p>○トップ会談（令和6年7月18日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市圏における交通渋滞の課題や取組の方向性について意見交換し、県市で認識を共有</li> <li>国や近隣自治体とも連携しながら、あらゆる手段を講じて渋滞解消に取り組んでいくことを確認</li> <li>県市共通のキーワードとして「自動車1割削減、公共交通利用2倍、渋滞半減」を設定</li> </ul> <p>○第1回 県市調整会議（令和6年8月19日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まずは大きく交通状況が変化し、主要渋滞箇所が集中している、熊本市東部・北東部エリアをターゲットに取り組むことを確認</li> <li>道路整備のハード対策とあわせて、マイカーから公共交通への転換や街なかへの自動車流入の抑制に向けたソフト施策にも取り組む</li> <li>ピーク時の交通量を分散する取組として、9月から県市共同で時差出勤を推進することとした（目標：県市合計 1日4千人）</li> </ul> <p>▲トップ会談等を通じ、県市両トップによる課題の共有や取組の加速化等を確認</p> <p>○第2回 熊本県交通渋滞対策協議会（令和6年12月16日）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県内の渋滞状況や対策等を共有し、最新の交通状況に合わせ、新たに12箇所を主要渋滞箇所に指定（県内の主要渋滞箇所は285箇所）</li> </ul> <p><b>3 短期的な課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>慢性化する都市圏の交通渋滞の緩和に向け、交差点改良等の道路施策に取り組み、車の「流れ」をよくするとともに、公共交通の利便性向上や利用促進策も併せて実施し、車から公共交通への「転換」を促すことが必要</li> <li>加えて、ピーク時の交通を「分散」する取組として、9月から県市共同で推進している時差出勤のさらなる拡大や、ルートマネジメントなどによる既存道路ネットワークの利活用などにも早急に取り組む必要がある</li> </ul> <p><b>4 中長期的な課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>都市圏の交通渋滞を抜本的に変えていくには、高規格道路等の整備を進め、道路ネットワーク整備を着実に推進するとともに、特に県民・市民の大きな不満である中心市街地と空港を結ぶメイン道路の第二空港線等を重点的に取り組んでいくことが必要</li> <li>公共交通への利用転換を図るため、公共交通の基盤整備にも取り組む必要がある</li> </ul> <p><b>5 長期的な課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>国・県・市で連携して、広域道路ネットワークを構築することは、自動車交通の流れを良くすることはもとより、経済活動における人流・物流の円滑化や災害発生時におけるダブルネットワークの構築のためにも必要</li> </ul>